



神戸市看護大学

図書情報センターニュースレター

(旧 図書館ニュースレター)

(改訂版) 第 1 号



■図書館ニュースレターの発行を再開します。

2017 年まで発行されていた図書館ニュースレターを図書情報センターニュースレターに改名し発行を再開いたします。図書情報センターの管轄する図書館と情報センターからのお知らせ等を記載致します。大学 HP の図書館のページと合わせてご利用下さい。

■図書情報センター（図書館）から

現在、図書館は緊急事態宣言下で臨時閉館中です。各種オンラインデータベースや郵送などによる図書貸出をご利用下さい。図書館資料検索全般については大学 HP の以下の欄を、

https://www.kobe-ccn.ac.jp/library/search_literature/

臨時閉館などの状況については「図書館カレンダー」

<https://www.kobe-ccn.ac.jp/library/> をご覧下さい。学内の利用者の方は、「いちかん」経由のお知らせ(送信済)も参照下さい。

■図書館蔵書充実プロジェクト*による新規購入書籍リスト

2021 年度夏から、図書館の蔵書、特に看護学部生にとって役立つ書籍や各種看護系学会や研究会で話題の書籍等をいち早く図書館に揃えていくプロジェクトが活動しています。まずは以下の 3 点を図書館で購入します。近日中に閲覧・借用可となります。

今後も看護協会や看護学等関連書籍の出版社からの新刊案内にも留意しながら選書、購入していきます。

『看護が引き出す回復力』池田清子著 医学書院 2021 年 8 月

ISBN 978-4260046961

『これならわかる！ 消化器外科の看護ケア』福長洋介・長井優子著

ナツメ社 2021 年 6 月刊 ISBN 978-4816370427

『本当に大切なことが 1 冊でわかる呼吸器』さいたま赤十字病院

看護部 著/編集 照林社 2021 年 3 月刊 ISBN 978-

4796525305

※図書館蔵書充実プロジェクトは、本学の図書館情報センター委員会のメンバーによるプロジェクトで、現在は、看護系教員3名のメンバーで始動しています。）

■LIC(Library and Information Center 図書館情報センター)ノート

ニュースレターには、図書をはじめ各種図書館資料の紹介等を兼ねたエッセイ、新刊書の書評的紹介文、情報センターからお勧めの情報機器使用法案内、また、折々の学内点描、その他、役に立つことも立たないこともノート風に掲載したいと思えます。利用者の皆さんからの原稿も歓迎いたします！

図書館蔵書から（推薦図書紹介）

『あのころはフリードリヒがいた』 Damals war es Friedrich ハンス・ペーター・リヒター Hans Peter Richter 著 1961年、上田真而子 訳 岩波書店 新版(2000年) (所蔵：1階 一般開架 3301205561 J-94)

コミュニケーション論という科目を講じている。落とせないトピックに「偏見」がある。円滑な意思の疎通を図るメッセージのやりとりを阻害する要因の一つが偏見である。特定のグループにマイナスの評価を問答無用に結びつけ、グループごと排斥し敵視する、コミュニケーションを大きく阻害する姿勢であることを講じる。その折に、参考図書としてこの児童向け書籍を紹介することがある。人は、人を人として見るということを易々と放棄、あるいは、忘れてしまうという、頭では不可解と思いながらも、実際には大小様々なことが歴史に材をとるまでもなく、普通にある。

この本は、ヒトラー政権下のドイツで日常の中で迫害されていくユダヤ人一家とドイツ人一家の交流とその遮断を、押さえた筆致でドイツ人少年の目を通して、この少年自身の狼藉も含め、述べていく。社会の変容がどのように成り、それが個人にどのように影響を及ぼすのか、個々の葛藤がなぎ倒されていく様が描写される。「どうしてあんなことになったのか？」という問いを忘れないことは同時代の社会に多様な人々が共存するためにとっても大切だ。

(藤代節・図書館情報センター長)

★このニュースレターは不定期で刊行します。本学HPの図書館ページに掲載し、学内には「いちかん」等にて配信いたします。図書館内では紙媒体でも若干部数をご用意しますので自由にお取り下さい。